



Press Information

VPR18-058

2018年6月19日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン:「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」に オフィシャルカーを提供

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社 (代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県 豊橋市、略称:VGJ)は7月29日(日)~9月17日(月)に開催される「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」のオフィシャルカーとして、電気自動車「e-Golf(イー ゴルフ)」4台及び PHEV「Golf GTE(ゴルフ ジーティーイー)」1台を、芸術祭期間中に提供いたします。760 km²にも及ぶ、この日本最大規模の国際アートイベントの会場を、芸術祭関係者をはじめ、アーティストや来賓の”足“として走ります。オフィシャルカーには、同芸術祭のクリエイティブ・ディレクターである佐藤 卓(<https://www.tsdo.jp/>)によるオリジナルデザインが予定されています。

【「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」とは】

過疎高齢化が進む日本有数の豪雪地・越後妻有(新潟県十日町市、津南町)を舞台に、2000年から3年に1度開催されている世界最大級の国際芸術祭です。農業を通して大地とかがわってきた「里山」の暮らしが今も豊かに残っている地域で、「人間は自然に内包される」を基本理念に、アートを媒介として地域に内在するさまざまな価値を掘り起し、その魅力を世界に発信し、地域再生の道筋を築くことを目指しています。

▶ オフィシャル HP: www.echigo-tsumari.jp/

【e-Golf と Golf GTE について】

今回、「大地の芸術祭」において利用される「e-Golf」、そして「Golf GTE」は、フォルクスワーゲンが現在、グローバルに推進する電動化戦略において重要な役割を果たすモデルとなっています。

昨年日本に初導入された電気自動車「e-Golf」は、大自然の中、排気ガスを出さない、エンジン音のない移動手段として、同イベントの「人間は自然に内包される」という基本コンセプトに見事にマッチしたクルマです。

また PHEV の「Golf GTE」は、EV 走行だけでなく、ハイブリッド走行によるロングドライブも可能。

両車種は、誰もが安心して、気軽に乗れる「People's Car(人々のクルマ)」ブランド フォルクスワーゲンの最も象徴的なモデルである「Golf」をベースとしており、今回のプロジェクトに最適なクルマです。

【フォルクスワーゲン x アート トリエンナーレ】

フォルクスワーゲンは、世界各国でアートや文化的活動を支援しています。

今回の越後妻有アートトリエンナーレへのオフィシャルカー提供を通じて、「People's Car」ブランドとして、アートと人々の暮らしを結びつける芸術祭を応援していきます。

